

お国自慢



株式会社西原環境

真庭市

自然豊かなバイオマス産業都市 真庭市くらしの循環センター

1. はじめに

真庭市は岡山県の北中部に位置し、北部で鳥取県と接しており、面積は約 828 km²と県内最大を誇ります。市南部は吉備高原、北部は中国山地を形成し、県境にある蒜山高原は西日本を代表する高原リゾート地で、ジャージー牛の放牧地としても有名です。他にも、蒜山三座と呼ばれる上蒜山、中蒜山および下蒜山からなる登山スポットや、日本の滝百選に選ばれた高さ 110m の名瀑である神庭の滝など観光名所が多数あり、豊かな自然と酪農や林業が盛んな地域です。市内の勝山町並み保存地区には今なお歴史ある町並みが残っており、多くの観光客が訪れています。

2. 施設の紹介

真庭市は環境に配慮した先駆的な取り組みで知られます。生ごみの資源化にも着手し、令和 6 年 12 月に『くらしの循環センター』が完成しました。

本施設では、運び込まれた生ごみ、し尿および浄化槽汚泥をメタン発酵させ、バイオガスを生成し電気と温水を作っています。またメタン発酵する際に生成された消化液をバイオ液肥として市民の皆様にご利用して頂いております。

本施設は、真庭市の新たなごみ処理の形成に寄与する施設です。

3. 施設の概要（生ごみ資源化施設）

施設名称：真庭市くらしの循環センター

所在地：岡山県真庭市赤野 1205-2

処理能力：生ごみ 10t/日(うち腐食油 0.16kL/日)
し尿 19kL/日

浄化槽汚泥 76kL/日

処理方式：資源化方式 湿式メタン発酵
(中温方式)

水処理方式 希釈+下水道放流

発電設備：バイオガス発電装置

(ガスエンジン式) 25kW × 6 台
メタンガス発生量 1,400 m³/日

工期：令和 3 年 7 月～令和 6 年 12 月

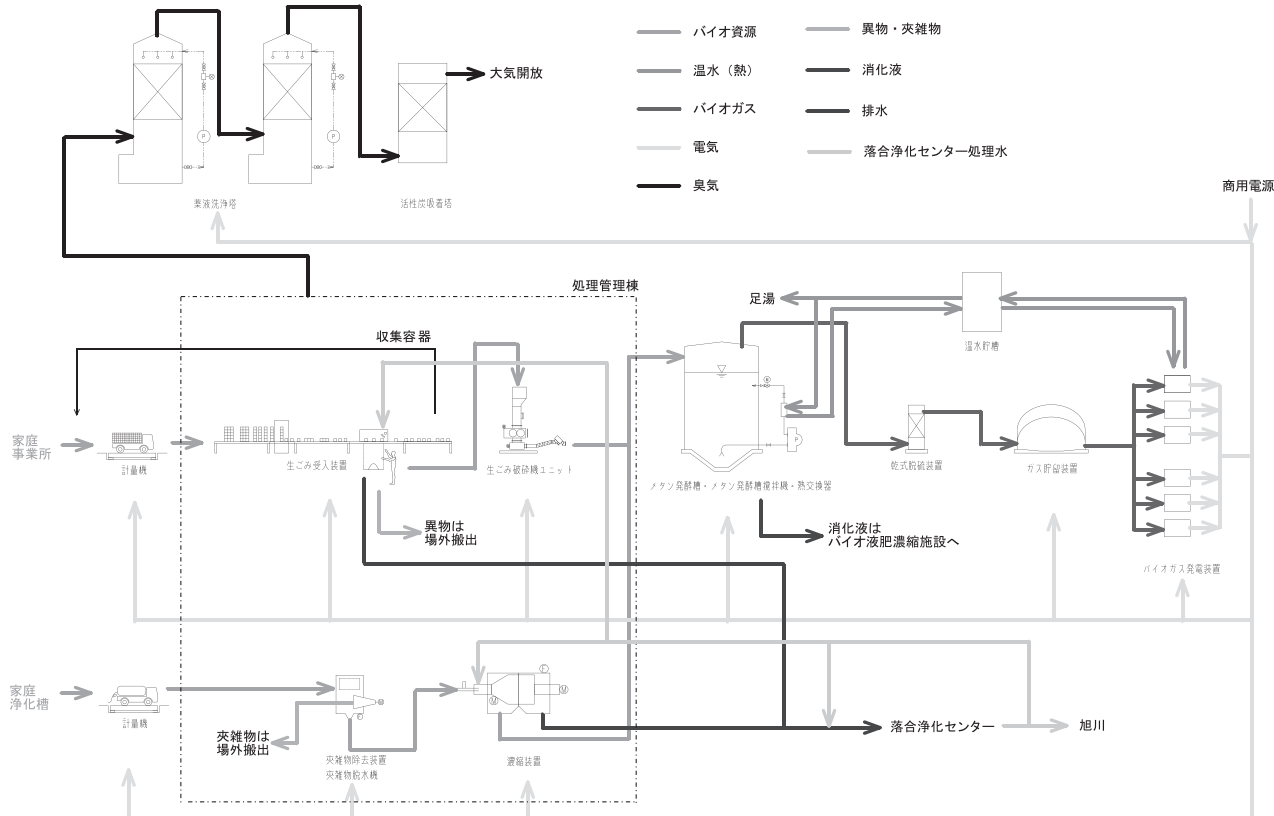
事業主体：真庭市

施工監理：八千代エンジニアリング株式会社
設計・施工：西原環境・梶岡建設特定建設工事
共同企業体



施設全景

真庭市くらしの循環センター（まにくるーん） マテリアルフロー



真庭市くらしの循環センターフローシート

4. 施設の特徴

①生ごみの資源化を進める施設

生ごみ、し尿・浄化槽汚泥は計量機で搬入量を計り、生ごみは異物などを取り除いたあと細かく破碎され、ごみを取り除かれ濃縮されたし尿・浄化槽汚泥と混合します。

メタン発酵槽にてバイオガスが生成され、バイオガス発電装置にて電気と温水を作ります。

②周辺環境に配慮した施設

周辺環境と調和した配色とし、景観にも配慮された施設です。

また生ごみなどを取り扱う施設のため臭気を考慮し、薬液洗浄塔と活性炭吸着塔を設置し、臭気を除去しています。

③地域の方々に利用しやすい施設

処理の過程で得られた温水を利用した足湯を施設内に設置し、地域の方々に利用して頂いています。

また、施設内には防災備品を備蓄しており、災害発生時の防災拠点の役割も担っています。

真庭市のご紹介

◇蒜山高原

西日本を代表する高原リゾート地で、ジャージー牛の放牧地としても知られており、食事や買物が楽しめる施設も充実しています。



蒜山高原

◇蒜山三座

上蒜山、中蒜山、下蒜山からなる登山スポットとして有名で、多くの登山家が訪れています。



蒜山三座

◇神庭の滝

高さ110m、幅20mの名瀑で、中国地方随一の規模を誇り、日本百景、日本の滝百選に選ばれています。

断崖絶壁を流れ落ちる様に目を奪われること間違いありません。



神庭の滝

◇勝山町並み保存地区

出雲街道の宿場町・城下町として栄え、1985年に岡山県初の町並み保存地区に指定されました。

白壁や格子窓の建物が並び、江戸時代の城下町の面影を残し、各家の軒先に掲げられたのれんが彩りを添える風情あるエリアになっており、多くの観光客が訪れています。



勝山町並み保存地区

◇温泉

長い歴史を誇る湯原温泉があり、岡山県を代表する温泉地です。

旭川沿いに広がる温泉郷で川底から湧き出す露天風呂「砂湯」が有名で、湯量も多く、良質なアルカリ性の高い泉質で肌触りがやわらかな温泉です。



湯原温泉

(引用元) (一社)真庭観光局